

年少者用補助乗車装置試験（協定規則第 44 号）

1. 総則

年少者用補助乗車装置試験（協定規則第 44 号）の実施にあたっては、「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」（平成 14 年国土交通省告示第 619 号）に定める「協定規則第 44 号の技術的な要件」の規定及び本規定によるものとする。

2. 測定値の末尾処理

測定値の末尾処理は、次により行うものとする。

2.1. 寸法(mm)

整数位までとし次位を切り捨てる。

2.2. 面積(cm²)

小数第 1 位までとし次位を切り捨てる。

2.3. 重量(kg)

小数第 1 位までとし次位を四捨五入する。

2.4. 割合

2.4.1. 室内コンディショニング後の破断荷重に関わる割合(%)

整数位までとし次位を切り上げる。

2.4.2. 特殊コンディショニング後の破断荷重に関わる割合(%)

整数位までとし次位を切り捨てる。

2.5. エネルギー吸収試験(G)

整数位までとし次位を切り捨てる。

2.6. バックル解離力(N)

整数位までとし次位を切り上げる。

2.7. 操作力(N)

整数位までとし次位を切り上げる。

2.8. ウェビングのスリップ又は移動量(mm)

整数位までとし次位を切り上げる。

2.9. リトラクター巻込力(N)

整数位までとし、次位を切り捨てる。

2.10. ストラップ破断荷重(kN)

小数第 1 位までとし次位を切り捨てる。

2.11. 動的試験

2.11.1. 速度(km/h)

小数第 1 位までとし次位を切り捨てる。

2.11.2. 停止距離(mm)

整数位までとし次位を四捨五入する。

2.11.3. 頭部移動量(mm)

整数位までとし次位を切り上げる。

2.11.4. 合成加速度(G)

整数位までとし次位を切り上げる。

2. 11. 5. 胸部加速度(G 腹部から頭部に向かう垂直成分)

整数位までとし次位を切り上げる。

2. 11. 6. 時間(ms)

整数位までとし次位を切り上げる。

3. 試験記録及び成績

試験記録及び成績は、該当する付表の様式に記入する。

なお、付表の様式は日本語又は英語のどちらか一方とすることができる。

3. 1. 当該試験時において該当しない箇所には斜線を引くこと。

3. 2. 記入欄は、順序配列を変えない範囲で伸縮することができ、必要に応じて追加してもよい。

3. 3. 次に該当する資料を添付すること。

3. 3. 1. 準汎用のカテゴリーの場合、サポートレッグ等を取付けるために必要な部品、条件及びその正確な位置を示す各車両用の特定の設計図

3. 3. 2. 毒性要件(CEN 玩具安全基準の第 3 部の関連規定)に適合していることを証する書面

3. 3. 3. 難燃性要件(「車両構造に関する ECE 統合決議(R.E.3)」の関連項目(TRANS/WP.29/78/Rev.1、1.20 項))に適合していることを証する書面

3. 3. 4. 日本語で記載した取扱説明書

3. 3. 5. 包装の表示内容を示した書面

3. 3. 6. 装置に貼付する表示内容を示した書面

3. 3. 7. 製品の外観及び寸法を示した書面

3. 4. 試験により測定した次の結果を添付すること。

3. 4. 1. 波形図

なお、下記(1)以外の波形図の時間軸は、衝突又は加速の瞬間から 300 ms 以上とする。

(1) エネルギー衝撃吸収試験時のヘッドフォームの加速度

(2) 台車の減速度又は加速度

(3) ダミーの胸部加速度及び胸部合成加速度

(4) ダミー頭部が接触した車両部分に対する衝撃吸収試験の加速度

3. 4. 2. 台車の総速度変化曲線(ΔV) (加速スレッド使用時に限る)

3. 4. 3. 動的試験のダミー頭部の最大移動時の移動量を示す波形図及び写真

3. 4. 4. ダミー頭部の接触部分の接触後及び衝撃吸収試験後の写真(特定車両用カテゴリーに限る)

3. 4. 5. エネルギー衝撃吸収試験時の打撃位置が明瞭に分かる写真

5. 試験成績

Test results

注1:該当しない項目には斜線を記載すること。

Note 1: A slash is drawn in the column not applicable.

注2:「否」の場合は備考欄に番号、条項、試験内容及び状況を記載すること。

Note 2: In the case of "Fail", indicate the number, provision, contents of the examination, and situation in the remarks column.

(I) 一般仕様

General specifications

6.1. i. 車両上での位置決めと固定

Positioning and securing on the vehicle

6.1.2. (a) 特定車両用カテゴリーの後向き拘束装置

For rear-facing restraint in specific vehicle category

- ① ヘッドサポート半径開始点から目の位置でシートバックと垂直に交差する点までの距離 mm \geq 40 mm 適・否
Pass/Fail

Distance from the start of radius of such support to the point intersecting with line perpendicular to the seat back through the eye line. 括弧書きで設計値を記載すること
A design value is indicated by parenthesis writing

6.1.3.6. (b) 幼児拘束装置のストラップ又は幼児拘束装置取付け用ストラップに、既に成人用ベルトを取付けているベルトアンカレッジを用いる幼児拘束装置

In the case of child restraining straps or child restraint attachment strap utilizing belt anchorages to which are already fitted an adult belt or belts

- ① 成人用アンカレッジの有効位置が規則 No.14又は同等規則に基づいて認可されたものであること。 適・否
Pass/Fail

The effective adult anchorage position is as approved under Regulation No. 14 or equivalent

- ② 両装置の効果的な使用が互いに妨げられないこと。 適・否
Pass/Fail

Effective operation of both devices is not hindered by the other

- ③ 成人用バックルと追加装置のバックルには互換性があってはならないこと。 適・否
Pass/Fail

The buckles of the adult and additional system must not be interchangeable.

- ④ 幼児拘束装置がバー又は規則 No.14により認可されたアンカレッジに取付ける特別な装置を用い、それによってアンカレッジの有効位置を規則 No.14の規定範囲外に移動させる場合には、下記の条件が適用されるものとする。

In the case of child restraining devices utilizing bars, or extra devices attached to the anchorages approved under Regulation No. 14, which move the effective anchorage position outside the field of Regulation No. 14, the following points shall apply:

- ⑤ 当該装置は、準汎用又は特定車両用の装置に限り認可される。 適・否
Pass/Fail

Such devices will only be approved as semi-universal or specific vehicle devices;

- ⑥ 技術機関は当該バー及び固定装置に対して本規則の附則11の要件を適用するものとする。 適・否
Pass/Fail

The Technical Service shall apply the requirements of Annex 11 to this Regulation to the bar and the fastenings;

- ⑦ 当該バーを取付ける成人用アンカレッジの有効位置及びその作動が損なわれないものとする。 適・否
Pass/Fail

The effective position and operation of any adult anchorage by which the bar is fixed shall not be impaired.

6.1.3.7. (c) サポートレッグを備えた幼児拘束装置

For child restraints with a support leg

- ① 「準汎用」又は「特定車両」カテゴリーであること。 適・否
Pass/Fail

It shall only be approved under the "semi-universal" or the "specific vehicle" category.

- ② 車両内で正常に機能するために必要な条件の情報を添付すること。 適・否
Pass/Fail

Information on conditions necessary for correct functioning inside the vehicle shall be attached.

6.1.4. (d) ブースタークッション

A booster cushion

- ① 成人用ベルト又は独立した手段のいずれかで拘束しなければならない。 適・否
Pass/Fail

It must be restrained by either an adult belt, or by separate means

6.1.5. (e) 毒性要件 (グループII及びIIIは除く)

Toxicity requirements (It does not apply to groups II and III.)

- ① 幼児の手が届く材料の毒性はCEN玩具安全基準の第3部の関連規定に適合すること。 適・否
Pass/Fail

The toxicity of materials used which are accessible to the restrained child is in conformity with the relevant parts of CEN Safety of Toys, part 3

6.1.6. (f) 難燃性要件

Flammability of materials requirements

製造時に使用した材料の引火性が「車両構造に関するECE統合決議(R.E.3)」の関連項目に適合すること

The flammability of materials used to manufacture the restraint system is in conformity with the relevant paragraphs of the ECE Consolidated Resolution on the Construction of Vehicles (R.E.3) 適・否
Pass/Fail

6.1.8. (g) 汎用カテゴリーの幼児拘束装置 (ISOFIX汎用幼児拘束装置を除く)

For a child restraint system of the "universal" category, except ISOFIX universal child restraint systems

幼児拘束装置と成人用安全ベルトの間の主要荷重保持接点は、幼児拘束装置を動的テストベンチで測定したときに、Cr軸から150 mm以上離れているものとする。

The main load-bearing contact point, between the child restraint and the adult safety-belt shall not be less than 150 mm from the Cr axis when measured with the child restraint on the dynamic test bench. 適・否
Pass/Fail

6.1.9. (h) 動的試験を試験用シートで実施する場合、巻き取り装置ベルトが用いられる場合は、スプールに150mm以上ベルトが残っていること。

In the case of a dynamic test using a test bench, if the retractor belt is used, this condition shall be met with at least 150 mm of belt remaining on the spool 適・否
Pass/Fail

6.1.10.	(i) グループ 0及び0+の幼児拘束装置は前向きに使用しないものとする。 Child restraints of groups 0 and 0+ shall not be used forward facing	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
6.1.11.	(j) 2.4.1項に定義されるキャリコットを除き、グループ0及び0+の幼児拘束装置は、一体型クラスに属するものとする。 Child restraint systems of groups 0 and 0+, with the exception of carry cots as defined in paragraph 2.4.1., shall belong to the integral class.	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
6.1.12.	(k) グループ I の幼児拘束装置は、2.7項に定義されるインパクトシールドが取付けられている場合を除き、一体型クラスに属するものとする。 Child restraint systems of group I shall belong to the integral class unless they are fitted with an impact shield as defined in paragraph 2.7.	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
6.2.	ii . 構成 Configuration	
6.2.1	(a) 拘束装置の構成 The configuration of the restraint shall be such that	
6.2.1.1.	① 拘束装置は当該拘束装置の目的とするいかなる位置においても、要求される保護効果をもたらすものであること。 The restraint gives the required protection in any intended position of the restraint system	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
	② 「特殊ニーズ拘束装置」の場合は、当該拘束装置の目的とするいかなる位置においても、補助拘束装置があってもそれらを使用せずに、主要拘束手段によって、要求される保護効果をもたらすものであること。 For "Special Needs Restraints" the primary means of restraint shall give the required protection in any intended position of the restraint system without the use of the additional restraining devices which may be present.	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
6.2.1.2.	③ 幼児を容易にかつ素早く置いたり取り出したりすることができること。 The child is easily and quickly installed and removed	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
6.2.1.2.	④ 幼児をリトラクター無しのハーネスベルト又はY字ベルトによって拘束する幼児拘束装置の場合には、肩拘束装置及びラップベルトは、1つのバックルを1回操作することによって、互いに連動して動かせること。この場合、幼児拘束装置のベルトアセンブリは、2つ以上の部品を接続するように設計してもよい。 In the case of a child restraint system in which the child is restrained by means of a harness belt or a Y-shaped belt without a retractor each shoulder restraint and lap strap shall be capable of movement relative to each other. In these cases the belt assembly of the child restraint system may be designed with two or more connecting parts.	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
6.2.1.3.	⑤ 拘束装置の傾斜を変更できる場合、この変更のためにストラップを手で調節しなおす必要が生じないものとする。拘束装置の傾斜を変更するためには、意図的な手動操作を必要とする。 If it is possible to change the inclination of the restraint, this change in inclination shall not require manual readjustment of the straps. A deliberate hand-action is required in order to change the inclination of the restraint	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
6.2.1.4.	⑥ グループ 0、0+及び I の拘束装置は、幼児の睡眠中においても、要求される保護効果をもたらされるような位置に幼児を保持するものとする。 The group 0, 0+ and I restraint systems shall keep the child so positioned as to give the required protection even when the child is asleep	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
6.2.1.5.	⑦ 衝撃又は絶え間ない動きによって幼児がずり落ちることを防ぐために、一体型ハーネスベルトシステムを組み込んだ前向きグループ I拘束装置は全て、クロッチストラップを必要とする。 To prevent submarining, either by impact or through restlessness, a crotch strap shall be required on all forward-facing group I restraints incorporating an integral harness belt system	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
6.2.1.5.	⑧ クロッチストラップを装着し、調節できる場合には最も伸ばした位置にしたとき、ラップストラップは 9kg又は 15kgのダミーのいずれかの骨盤より上にくるように調節できないものとする。 With the crotch strap attached, and in its longest position if adjustable, it shall not be possible to adjust the lap strap to lie above the pelvis in either the 9 kg or the 15 kg dummy	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
6.2.2.	(b) グループ I、II及びIIIの場合には、「ラップストラップ」を使用する拘束装置は全て、「ラップストラップ」を確実に誘導して、「ラップストラップ」によって伝わる荷重が必ず骨盤を通して伝わるようにしなければならない。 For groups I, II and III, all restraint devices utilizing a "lap strap" must positively guide the "lap strap" to ensure that the loads transmitted by the "lap strap" are transmitted through the pelvis	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
6.2.3.	(c) 拘束装置のストラップは全て、通常に使用するとき装着者に不快感を与えたり、危険な形態にならないように配置するものとする。ショルダーストラップ間の距離は、首の近くでは少なくとも適切なマネキンの首の幅があること。 All straps of the restraint shall be so placed that they cannot cause discomfort to the wearer in normal use or assume a dangerous configuration. The distances between the shoulder-straps in the vicinity of the neck should be at least the width of the neck of the appropriate manikin.	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
6.2.4.	(d) アセンブリは、幼児の身体の弱い部分(腹部、股間など)を過度に圧迫しないものとする。衝突の際に圧力が幼児の頭頂部にかからないように設計すること。 The assembly shall not subject weak parts of the child's body (abdomen, crotch, etc.) to excessive stresses. The design shall be such that compression loads shall not be imposed on the crown of the child's head in the event of a collision	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
6.2.4.1.	① Y字ベルトは、後向き及び横向き幼児拘束装置(キャリコット)のみで使用することができる。 Y-shaped belts may only be used in rearward facing and lateral facing child restraint systems (carrycots)	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>

6.2.5.	(e) 幼児拘束装置は、以下のように設計し、装備すること。 The child restraint shall be so designed and installed as	
6.2.5.1.	① 鋭利な先端部又は突起による、幼児又は車両の他の乗員に対する傷害の危険を最小限にすること。 To minimize the danger of injury to the child or to other occupants of the vehicle through sharp edges or protrusions	適 ・ 否 Pass・Fail
6.2.5.2.	② 車両シートのカバー又は乗員の衣服を損じる恐れのある鋭利な先端部又は突起を露出しないこと。 Not to exhibit sharp edges or protrusions liable to cause damage to vehicle-seat covers or to occupant's clothing	適 ・ 否 Pass・Fail
6.2.5.3.	③ 幼児の身体の弱い部分(腹部、股間など)に、装置によって生じる付加的な慣性力がかからないこと。 Not to subject weak parts of the child's body (abdomen, crotch, etc.) to supplementary inertial forces it sets up	適 ・ 否 Pass・Fail
6.2.5.4.	④ 装置の剛性部品のストラップと接触する部分が、ストラップを摩擦する恐れのある鋭利な先端部を露出しないようにすること。 To ensure that its rigid parts do not, at points where they are in contact with straps, exhibit sharp edges capable of abrading the straps	適 ・ 否 Pass・Fail
6.2.6.	(f) 構成部品の着脱ができるように分離式になっている部品は、誤った組立てや使用がなされる危険をできる限り防ぐよう設計するものとする。 Any part made separable to enable components to be fixed and detached shall be so designed as to avoid any risk of incorrect assembly and use so far as possible	適 ・ 否 Pass・Fail
6.2.7.	(g) グループ I 用、II 用、及びグループ I と II の両用の幼児拘束装置が椅子の背を含む場合には、背の内側の高さが500mm以上あること。 Where the child restraint intended for group I, group II and groups I and II combined includes chair back, the internal height of the latter, shall be not less than 500 mm	適 ・ 否 Pass・Fail
6.2.8.	(h) 自動ロック式リトラクター又は緊急ロック式リトラクターのみ使用することができる。 Only automatically-locking retractors or emergency-locking retractors may be used	適 ・ 否 Pass・Fail
6.2.9.	(i) グループ I 用の装置の場合には、幼児を幼児拘束装置に乗せた後に、骨盤を拘束する部分を幼児が容易に緩めることができなければならない。この目的を達成するために設計されている装置を、幼児拘束装置に恒久的に取付けなければならない。 For devices intended for use in Group I it must not be possible for the child to easily slacken that part of the system that restrains the pelvis after the child has been installed; any device that is designed to obtain this must be permanently attached to the child restraint system	適 ・ 否 Pass・Fail
6.2.10.	(j) 年少者用補助乗車装置は、2つ以上の重量区分又は2人以上の幼児が使用するように設計してもよいが、ただし、それは各グループに設定される要件を満たせる場合に限る。「汎用」区分の年少者用補助乗車装置は、認可を受けている全ての重量区分に対する当該区分の要件を満たさなければならない。 A child restraint may be designed for use in more than one mass group and/or by more than one child, provided that it is able to satisfy the requirements laid down for each of the groups concerned. A child restraint in the "universal" category must meet the requirements of that category for all mass groups for which it has been approved.	適 ・ 否 Pass・Fail
6.2.12.	(k) ブースタークッションの場合、成人用ベルトのストラップ及びタンクが取付け点を容易に通ること。 In case of booster cushions, the ease with which the straps and tongue of an adult belt pass through the fixture points must be examined	適 ・ 否 Pass・Fail
6.2.13.	(l) 幼児拘束装置が2人以上の幼児用に設計されている場合には、各拘束装置が荷重移動及び調節に関して完全に独立しているものとする。 If the child restraint is designed for more than one child, each restraint system shall be fully independent with regard to load transfer and adjustments	適 ・ 否 Pass・Fail
6.2.14.	(m) 膨張性要素を組み込んだ幼児拘束装置は、その使用条件(圧力、温度、湿度)が本規則の要件に対する当該装置の適合能力に何ら影響を及ぼさないように設計すること。 The child restraints incorporating inflatable elements shall be so designed that the conditions of use (pressure, temperature, humidity) have no influence on their ability to comply with the requirements of this Regulation	適 ・ 否 Pass・Fail
6.3.	iii. ISOFIX 拘束装置の仕様 ISOFIX restraint specifications	
6.3.1.	(a) 一般特性 General characteristics	
6.3.1.1.	① 寸法 Dimensions ISOFIX 幼児拘束装置の寸法及びアンカレッジシステムの位置は、当該 ISOFIX サイズ等級に対応した車両シート装具 (VSF) の寸法に適合していること。 The dimensions of the ISOFIX child restraint system and the locations of the ISOFIX anchorages system shall comply with the Vehicle Seat Fixture (VSF) corresponding to the said ISOFIX size classification.	適 ・ 否 Pass・Fail
6.3.1.2.	② 質量 Mass 汎用及び準汎用カテゴリー、及び質量グループ 0、0+、I の ISOFIX 幼児拘束装置の質量は、15kg を超えないこと。 The mass of an ISOFIX child restraint system of universal and semi-universal categories and of mass group 0, 0+, I shall not exceed 15 kg.	適 ・ 否 Pass・Fail

6.3.2.	(b) ISOFIX取付具 ISOFIX Attachments						
6.3.2.2.	① 寸法 Dimensions ISOFIX幼児拘束装置取付具のISOFIXアンカレッジシステムとかみ合う部分の寸法は、図 0 (b) のエンベロープが示す最大寸法を超えてはならない。 Dimensions for the portion of the ISOFIX child restraint system attachment that engages the ISOFIX anchorage system must not exceed the maximum dimensions given by the envelope in figure 0 (b)		適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>				
6.3.2.3.	② ISOFIX取付装置の部分ラッチ表示 Partial latching indication ISOFIX幼児拘束装置には、ISOFIX下部アンカレッジと完全にラッチがかかることを明確に表示する手段を組み込むものとする。この表示手段は、聴覚、感触又は視覚的方法のいずれでもよく、又は 2つ以上の組み合わせでもよい。視覚的表示の場合には、全ての通常照明条件下で検知できなければならない。 The ISOFIX child restraint system shall incorporate means by which there is a clear indication that both of the ISOFIX attachments are completely latched with the corresponding ISOFIX lower anchorages. The indication means may be audible, tactile or visual or a combination of two or more. In case of visual indication it must be detectable under all normal lighting conditions		適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>				
6.3.3.	(c) トップテザーストラップの仕様 Top tether strap specifications						
6.3.3.1.	① トップテザーコネクタ Top tether connector トップテザーコネクタは図 0 (c) に示す ISOFIXトップテザーフック、又は図 0 (c) に示すエンベロープ内に収まる類似の装置であるべきものとする。 The top tether connector should be ISOFIX top tether hook as shown in figure 0 (c), or similar devices that fit within the envelope given by figure 0 (c).		適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>				
6.3.3.2.	② ISOFIXトップテザーストラップの特徴 ISOFIX Top tether strap features ・ ISOFIXトップテザーストラップは、調節及び張力解除のための装置を備えたウェビング(又はそれと同等のもの)によって支えること。 The ISOFIX top tether strap shall be supported by webbing (or its equivalent), having a provision for adjustment and release of tension		適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>				
6.3.3.2.1.	・ ISOFIX幼児拘束装置トップテザーストラップの長さは少なくとも 2,000mmとする。 ISOFIX Child restraint top tether strap length shall be at least 2,000 mm	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">ストラップの長さ</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">mm</td> </tr> <tr> <td>Strap length</td> <td style="text-align: center;">mm</td> </tr> </table>	ストラップの長さ	mm	Strap length	mm	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
ストラップの長さ	mm						
Strap length	mm						
6.3.3.2.2.	・ ゆるみなしインジケータ No-slack indicator ISOFIXトップテザーストラップ又は ISOFIXチャイルドシートには、ストラップからゆるみが全くなかったことを示す装置を備えるものとする。この装置は調節及び張力解除装置の一部でもよい。 The ISOFIX top tether strap or the ISOFIX child seat shall be equipped with a device that will indicate that all slack has been removed from the strap. The device may be part of adjustment and tension relieving device		適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>				
6.3.3.2.3.	・ ISOFIXトップテザーフックのかみ合い寸法 Engagement dimensions for ISOFIX top tether hooks		適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>				
6.3.4.	(d) 調節装置 Adjustment provisions ISOFIX取付具又は ISOFIX幼児拘束装置自体も、協定規則第14号に記した ISOFIXアンカレッジの配置範囲に対応するように調節できること。 The ISOFIX attachments, or the ISOFIX child restraint system itself, shall be adjustable to accommodate the range of ISOFIX anchorage locations described in Regulation No. 14		適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>				
6.4.	iv. マーキング Markings						
4.1.	(a) 製作者の名称、頭文字又は商標を明瞭かつ消えないように表示すること。 Shall be clearly and indelibly marked with the manufacturer's name, initials or trade mark.		適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>				
4.2.	(b) 製造年を明瞭にかつ消えないように表示すること。 Shall be marked clearly and indelibly with the year of production.		適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>				
4.3.	(c) ウェビングの取り廻し方法 Routing of the webbing ① 恒久的に貼り付けした図面によって示すこと。 Shall be indicated by means of a drawing permanently attached to the restraint		適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>				

- ② 固定経路を色分け、語句、形状等により明瞭に表示すること。
(前向きは赤色、後向きは青色)

適・否
Pass/Fail

Indication such as colour coding, words, shapes etc., shall distinguish each section.
(Forward facing shall be indicated in red color and rear facing shall be indicated in blue color.)

装置の向き Direction of device	色 Color
前向き Forward	
後向き Rearward	
左向き Leftward	
右向き Rightward	

- ③ ウェビングの取り廻しを示す製品上のイラストには、車両に対する幼児拘束装置の向きを明確に示さなければならない。車両シートを表示しないウェビングの取り廻し図は、認められない。

適・否
Pass/Fail

In any illustration of the belt route on the product, the orientation of the child restraint relative to the vehicle must be clearly indicated. Belt route diagrams that do not show the vehicle seat are not acceptable.

- ④ 表示は車両に取付けた状態で視認できること。
The marking shall be visible with the restraint in the vehicle.

適・否
Pass/Fail

4.4. (d) 警告ラベル
Warning label

- ① 表示内容(ラベルの表示内容、文字色、寸法等を示した図面を添付すること)

適・否
Pass/Fail

Text information (a figure indicating text information of label, colour of writing, dimensions, etc. shall be attached)

- ② 警告ラベルの取付方法
Attachment of warning label

適・否
Pass/Fail

- ③ 警告ラベルの恒久的な視認性(フラッグタイプのラベルは、禁止する。)
Permanent visibility of warning label. (Flag type labels are specifically prohibited.)

適・否
Pass/Fail

4.5. (e) 幼児の体重が製作者の指定する制限値を超えるまでは後ろ向きで使用する旨の表示
(前向き及び後ろ向き兼用に限る)

適・否
Pass/Fail

Shall indicate that the child restraint shall be used rear-facing before the child's weight exceeds the limit specified by the manufacture. (only in case of child restraints that can be used forward and rear-facing)

4.6. (f) ウェビングの取り廻しが代替ルートを使用する場合
In the case routing of the webbing uses alternative routes.

- ① 代替え荷重保持接点を恒久的にマーキングすること。
Alternative load bearing contact points shall be marked permanently.

適・否
Pass/Fail

4.7. ② 表示には説明書に記載されている旨の記載をすること。
The marking shall include an indication that the alternative route is described in the instructions.

適・否
Pass/Fail

4.8. (g) ISOFIX表示
ISOFIX Marking

- ① ロゴ、サイズ等級、操作方法の表示
Indication of logo, size class(es), and operation method.

適・否
Pass/Fail

(II) 個別仕様

Particular specifications

7.1. i. 組立て後の拘束装置に適用する規定
Provisions applicable to the assembled restraint

7.1.1.2. (a) 腐食試験
Resistance to corrosion

- ① 幼児拘束装置の適正な機能を損う恐れのある劣化の徴候や顕著な腐食が肉眼で認められないこと

No signs of deterioration likely to impair the proper functioning of the child restraint, and no significant corrosion, shall be visible to the unaided eye of a qualified observer

適・否
Pass/Fail

7.1.2 (b) エネルギー吸収試験
Energy absorption

衝撃位置 Impact location	最大加速度 Peak acceleration	要件 Requirement
	g	< 60 g

適・否
Pass/Fail

- 附則18 1. ① A点を通過する水平面上の全ての内側表面は、附則17に従ってテストする特殊なエネルギー吸収材からなるものとする。本材料は、サイドウイングの両方の内端(半径領域)を含め、背もたれ及びサイドウイングの内側表面をカバーするものとする。

All internal surfaces above the horizontal plane passing through point A shall comprise special energy-absorbing material tested in accordance with annex 17. This material shall cover the internal surfaces of the backrest and side wings, including the inner edges(zone of radius) of the side wings.

適・否
Pass/Fail

附則18 1. ② キャリコット装置でダミーの対称的な取付けが装置及びメーカーの指示により不可能な場合、附則17に適合する材料を使用すべき部位の下限は、キャリコットにダミーをメーカー指定の最悪位置に載せ、かつ、キャリコットをテストベンチに載せた状態で測定した場合におけるダミーの肩を超えた部分から頭部方向の全区域とする。

In the case of carry cot devices where a symmetrical installation of the dummy is not possible according to the device and manufacturer instructions, the lower limit of area at which material complying with annex 17 shall be used, shall be all areas beyond dummy's shoulder in the head direction, when measured with this dummy in the carry cot in its worst position consistent with the manufactures instructions and the carry cot positioned on the test bench.

適 ・ 否
Pass・Fail

附則18 1. ③ ダミーを対称的に取付けることができるキャリコットの場合は、内側表面全体を附則17に適合する材料で覆うものとする。本材料は、内側構造物とともにその目的を満たすものでなければならない。

If a symmetrical installation of the dummy in the carry-cot may be possible, the whole inner surfaces shall be covered with material complying with annex 17; this material has to fulfill its purpose together with the inner side structure

適 ・ 否
Pass・Fail

附則18 2. ④	サイドウイングの最低高さ Minimum size of side wings	要件 Requirement
Annex 18 2.	mm	≧ 90 mm

(後ろ向き装置に限る) 括弧書きで設計値を記載すること
(For rearward-facing devices) A design value is indicated by parenthesis writing

適 ・ 否
Pass・Fail

7.1.3. (c) 転覆試験

Overturning test

使用したマネキン(質量) Manikin to be used (mass)				
座席ベルトの種類 Kind of Safety-belt				
装置の向き Direction of device				
傾斜位置 Inclined position				
適合性 Conformity	適 ・ 否 Pass・Fail	適 ・ 否 Pass・Fail	適 ・ 否 Pass・Fail	適 ・ 否 Pass・Fail

7.1.5. (d) 温度に対する耐性

Resistance to temperature

幼児拘束装置の適正な機能を損なう恐れのある劣化の徴候が、肉眼で認められないこと。

no signs of deterioration likely to impair the proper functioning of the child restraint, shall be visible to the unaided eye of a qualified observer

適 ・ 否
Pass・Fail

7.2. ii. 拘束装置の個々の構成部品に適用する規定

Provisions applicable to individual components of the restraint

7.2.1. (a) バックル

Buckle

7.2.1.1. ① 半締りのままになる可能性がないこと

It must not be possible for the buckle to be left in a partially closed position.

適 ・ 否
Pass・Fail

7.2.1.1. ② ロックされている間にバックルの部品を不注意で交換する可能性がないこと

It must not be possible to exchange the buckle parts inadvertently when the buckle is being locked.

適 ・ 否
Pass・Fail

7.2.1.1. ③ 全ての部品がかみ合っている場合にのみロックしなければならない

The buckle must only lock when all parts are engaged.

適 ・ 否
Pass・Fail

7.2.1.1. ④ バックルが幼児と接触する場合には、バックルの幅は7.2.4.1.1項に規定するストラップの最小幅と同じかそれより太いものとする。

Wherever the buckle is in contact with the child, it shall not be narrower than the minimum width of strap as specified in paragraph 7.2.4.1.1. below

バックルの幅 Width at the child-restraint buckle	mm
---	----

適 ・ 否
Pass・Fail

7.2.1.2. ⑤ 張力がかかっていない場合であっても、どの位置においても閉じたままであるものとする。

Even when not under tension, shall remain closed whatever its position

適 ・ 否
Pass・Fail

7.2.1.2. ⑥ 操作しやすく握りやすいもので、ボタン又は類似の装置に圧力をかけることにより開くことができるものとする

It shall be easy to operate and to grasp. It shall be possible to open it by pressure on a button or on a similar device

適 ・ 否
Pass・Fail

要件
Requirement

7.2.1.2. ⑦	バックル解除面 buckle release area		包囲型 enclosed	非包囲型 non-enclosed
	面積 Area	cm ²	≧ 4.5 cm ²	≧ 2.5 cm ²
	最小幅 Minimum width	mm	≧ 15 mm	≧ 10 mm

適 ・ 否
Pass・Fail

7.2.1.3. ⑧ バックル解除面は赤色とする。バックルのその他の部分はいずれも、この色でないものとする。

The buckle release area shall be coloured red. No other part of the buckle shall be of this colour

適 ・ 否
Pass・Fail

- 7.2.1.4. ⑩ 1つのバックルを1回操作することによって、幼児を拘束装置から解放することができるものとする。グループ0及び0+については、当該年少者用補助乗車装置が最大2つのバックルの操作により解放できるならば、乳児用キャリア、キャリアコト拘束装置又はキャリアコト拘束装置保持具のような装置と一緒に幼児を取り出してもよい。

It shall be possible to release the child from the restraint by a single operation on a single buckle. For groups 0 and 0+ it is allowed to remove the child together with devices such as infant carrier/carry-cot/carry-cot restraints if the child restraint system can be released by operation of a maximum of two buckles.

適 ・ 否
Pass・Fail

- 7.2.1.4.1. ⑩ ハーネスベルトの両ショルダーストラップ間のクリップ接続は、上記7.2.1.4 項に記した1回の操作要件に適合しないものとみなす

A clip connection between the shoulder straps of a harness belt is deemed not to comply with the single operation requirement given in paragraph 7.2.1.4. above

適 ・ 否
Pass・Fail

- 7.2.1.5. ⑪ グループII及びIIIの場合、マネキンの手がバックルに届く位置にあること

For groups II and III the buckle shall be so placed that the manikin can reach it

適 ・ 否
Pass・Fail

- 7.2.1.5. ⑫ 緊急時の救助者にその目的と操作方法が直ちに分る位置にあること。

In addition it shall for all groups be so placed that its purpose and mode of operation are immediately obvious to a rescuer in an emergency

適 ・ 否
Pass・Fail

- 7.2.1.6. ⑬ 「チェア」、「チェアサポート」又は「インパクトシールド」が取付けられている場合、バックルの解除によって、それらとは別に幼児を取り出すことができるものとし、当該装置にクロッチストラップが含まれているならば、同じバックルの操作でそのクロッチストラップも解除できるものとする。

Opening of the buckle shall enable the child to be removed independently of the "chair", "chair support" or "impact shield", if fitted, and if the device includes a crotch strap the crotch strap shall be released by operation of the same buckle

適 ・ 否
Pass・Fail

- 7.2.1.8. ⑭ 解除力試験
Opening test

7.2.1.8.2.1. •	無負荷状態のバックル解除力 Force needed to open the buckle in no load state	要件 Requirement
	N	40 ~ 80 N

適 ・ 否
Pass・Fail

- 7.2.1.9. ⑮ 強度試験
Strength test

重量区分 mass groups	規定荷重 Specified load	破損状況 Break situation
0, 0+	4,000N	
I, II, III	10,000N	

該当する項目を○で囲むこと
An applicable item is surrounded by a circle

適 ・ 否
Pass・Fail

- 7.2.2. (b) 調節装置
Adjusting device

- 7.2.2.1. ① 調節範囲は、当該装置を使用する体重グループの全マネキンについて、その年少者用補助乗車装置を正しく調節でき、全ての指定車両モデルに適正に装着するのに十分なものであること

The range of adjustment shall be sufficient to permit correct adjustment of the child restraint with all manikins of the weight group for which the device is intended and to permit satisfactory installation in all specified vehicle models

適 ・ 否
Pass・Fail

- 7.2.2.2. ② 調節装置は「迅速調節装置」タイプであること。ただし、拘束装置を最初に車両に取付けるためにだけ使用する調節装置は「迅速調節装置」タイプ以外のものでもよい。

All adjusting devices shall be of the "quick adjuster" type, except that adjusting devices used only for the initial installation of the restraint in the vehicle may be of other than the "quick adjuster" type

適 ・ 否
Pass・Fail

- 7.2.2.3. ③ 迅速調節装置は、幼児拘束装置が正しく取付けられ、幼児又はマネキンがその位置にある場合に、容易に手が届くこと。

Devices of the "quick adjuster" type shall be easy to reach when the child restraint is correctly installed and the child or manikin is in position

適 ・ 否
Pass・Fail

- 7.2.2.4. ④ 調節の容易性
Ease of adjustment

手動操作力 Manual control force of adjuster	要件 Requirement
N	≦ 50N

破損又は解除 Break or be detached
有・無 Yes・No

適 ・ 否
Pass・Fail

- 7.2.2.5.1. ⑤ マイクロスリップ試験
Microslip test

スリップ量 Length which slipped
mm

要件
Requirement

1つの調節装置 全調節装置
One adjusting device All adjusting devices

≦ 25mm 40mm

適 ・ 否
Pass・Fail

7.2.3. (c) リトラクター
Retractors

7.2.3.1.2. ① 巻取装置試験

7.2.3.2.5. Retractor test

帯部の種類	巻込力試験 Retracting force test	耐久性試験後(7.2.3.1.3., 7.2.3.2.6.) Durability test			要件 Requirement
		巻取装置の故障 Retractor failure	作動状況 Operation situation	試験後の巻込力 Retracting force after the test	巻込力 Retracting force
腰部 Lap 胸部 Chest 腰肩連続 Lap and Chest	N	有・無 Yes・No	適・否 Pass/Fail	N	腰部 $\geq 7\text{ N}$ Lap 胸部 $2\text{ N} \leq$ Chest $\leq 7\text{ N}$

適・否
Pass・Fail

該当する項目を○で囲むこと
An applicable item is surrounded by a circle

7.2.3.1.1. ② 自動ロック位置試験

Auto lock position test

ロックするまでのストラップの移動量 Distance of strap between locking positions of the retractor	耐久性試験後 (7.2.3.1.3.) After durability test	要件 Requirement
mm	mm	$\leq 30\text{ mm}$

適・否
Pass・Fail

7.2.3.2. ③ 緊急ロック試験

Emergency-locking test

ストラップ引出試験 Unwind strap test	ロック時引出量 (7.2.3.2.4) Amount of strap extraction occurring before the retractor locks	適合性 Conformity		
		耐久性試験後 (7.2.3.2.6.) After durability test		
7.2.3.2.1.1. 車両の減速度 Deceleration of vehicle	0.45g	50mm以下 Not exceed 50 mm	適・否 Pass/Fail	適・否 Pass/Fail
7.2.3.2.1.2. 試験加速度 Deceleration of test	0.8g未満 Less than 0.8g	50mm超 More than 50mm	適・否 Pass/Fail	適・否 Pass/Fail
7.2.3.2.3. 試験減速度 Deceleration of test	1.5g	50mm以下 Not exceed 50 mm	適・否 Pass/Fail	適・否 Pass/Fail
7.2.3.2.1.3. 傾斜時(12° 以内)非ロック要件 Non-locking requirements at the time of an inclination (not more than 12 degrees)			適・否 Pass/Fail	適・否 Pass/Fail
7.2.3.2.1.4. 傾斜時(27° 超)ロック要件 Locking requirements at the time of an inclination (more than 27 degrees)			適・否 Pass/Fail	適・否 Pass/Fail
7.2.3.2.2. 電気信号故障時のロック要件 Locking requirements at the electric signal failure			適・否 Pass/Fail	適・否 Pass/Fail

7.2.4. (d) ストラップ
Strap

7.2.4.1.1. ① 幅

ダミーに接触するストラップの幅 Minimum width at the child-restraint straps which contact the dummy
mm

要件 Requirement
重量グループ Mass groups
0, I, II, III
$\geq 25\text{ mm}$ 38mm

適・否
Pass・Fail

7.2.4.2 ② 室内コンディショニング後の破断荷重

Breaking load after room conditioning

ストラップの 使用部の名称 The name of a used part of strap	破断荷重 Breaking load		平均値 Mean value	破断荷重の差/ 高い方 The difference between the breaking loads/ Higher
	A	B	(A+B)/2	$ (A-B)/(A\text{ or }B) \times 100$
	N	N	N	% ($\leq 10\%$)

適・否
Pass・Fail

7.2.4.3. ③ 特殊コンディショニング後の破断荷重

Breaking load after special conditioning

7.2.4.3.1. ④ 特殊コンディショニング後の破断荷重は室内コンディショニング後の破断荷重(平均値)の75%以上であること

The breaking load after special conditioning shall be not less than 75 percent of the breaking load after room conditioning(average value).

適・否
Pass・Fail

ストラップの使用部の名称 The name of a used part of strap				
耐光性試験 Light conditioning test	破断荷重 Breaking load	N	N	
	保持率 Strength retention	%	%	
耐寒性試験 Cold conditioning test	破断荷重 Breaking load	N	N	
	保持率 Strength retention	%	%	
耐熱性試験 Heat conditioning test	破断荷重 Breaking load	N	N	
	保持率 Strength retention	%	%	
耐水性試験 Exposure to water test	破断荷重 Breaking load	N	N	
	保持率 Strength retention	%	%	
耐摩耗試験 Abrasion conditioning test	タイプ1 Type 1	破断荷重 Breaking load	N	N
		保持率 Strength retention	%	%
		試験箇所 Test point		
	タイプ2 Type 2	破断荷重 Breaking load	N	N
		保持率 Strength retention	%	%
		試験箇所 Test point		

7.2.4.3.2. ⑤ 特殊コンディショニング後は次の表の重量グループに該当する破断荷重以上であること

After special conditioning, the breaking load shall not be less than the load of the mass groups listed in the below chart.

重量グループ Mass groups	0, 0+, I	II	III
破断荷重 Breaking load	3. 6kN	5kN	7. 2kN

適・否
Pass・Fail

7.2.4.4. ⑥ 調節装置、バックル又はアンカー点を通して全体を引っ張ることができないこと。

It shall not be possible to pull the complete strap through any adjusters, buckles or anchoring points

適・否
Pass・Fail

7.2.5. (e) ロックオフ装置

Lock-off device

7.2.5.1. ① 恒久的に固定しなければならない。

Must be permanently attached

適・否
Pass・Fail

7.2.5.2. ② 成人用ベルトの耐久性を損なわないこと

Must not impair the durability of the adult belt

適・否
Pass・Fail

7.2.5.3. ③ 幼児を迅速に解放することを妨げないこと

Must not prevent the rapid release of the child

適・否
Pass・Fail

7.2.5.4. ④ ウェビングのスリップ試験

The amount of slip of the webbing test

クラス A・B
Class

スリップ量 The amount of strap slip
mm

適・否
Pass・Fail

7.2.6. (f) ISOFIX取付具

ISOFIX attachment

2,000±5回の開閉サイクルの反復操作に耐えること。

It shall be capable of withstanding repeated operations of 2,000±5 opening and closing cycles.

適・否
Pass・Fail

(III) 取扱説明

Instructions

15.1. 各幼児拘束装置には、当該装置を販売する国の言語で書かれた下記内容の取扱い説明を添付するものとする。

Each child restraint shall be accompanied by instructions in the language of the country where the device is sold with the following content:

適・否
Pass・Fail

15.2. i. 取付け方法の説明

Instructions on installation

適・否
Pass・Fail

15.2.1.~3. (a) 取付け方法のラベルが販売場所で包装を取り除かないでも明確に視認できること

15.2.10. The label of the attachment method shall be clearly visible at the point of sale without removing the packing.

15.2.11.

適・否
Pass・Fail

15.2.4. ① 装置が座席ベルトを必要とする場合には、使用可能な座席ベルトの種類を販売場所で包装を取り除かないでも明確に視認できること

If the device requires an adult safety-belt, the kind of seat belt which can be used should be clearly visible at the point of sale without removing the packing.

適・否
Pass・Fail

15.2.4. ② キャリコト拘束装置の場合には、当該装置が適合するキャリコトのリストの記載

In the case of carry-cot restraints a list of carry-cots for which the device is suited should be included

適・否
Pass・Fail

15.2.5.	③ 使用者が特定車両に幼児拘束装置を取付けるための追加情報を問い合わせる先を梱包箱に表示すること It shall provide information on the packing box as to the address to which the customer can write to obtain further information on fitting the child restraint in specific cars	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.2.6.	④ 取付け方法の写真又は明瞭な図面での説明 The method of installation illustrated by photographs or very clear drawing	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.2.7.	⑤ 幼児拘束装置の剛性部品とプラスチック部品は車両が日常使用される間に可動シート又は車両のドアに挟まれないように配置し、取付けなければならないことの使用への周知 The user shall be advised that the rigid items and plastic parts of a child restraint must be so located and installed that they are not liable, during everyday use of the vehicle, to become trapped by a movable seat or in a door of the vehicle	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.2.8.	⑥ キヤリコットは車両の前方に対して横向きに使用することの使用への周知 The user should be advised to use carry-cots perpendicular to the longitudinal axis of the vehicle	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.2.9.	⑦ 後向きに取付ける装置は、エアバッグが装備された座席には取付けないことの使用への周知。この説明内容は、販売場所で包装を取り除かないでも明確な視認ができること。 In the case of rearward facing systems the customer shall be advised not to use them in seating positions where there is an airbag installed. This information shall be clearly visible at the point of sale without removing the packaging	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.2.10.	⑧ 「特殊ニーズ拘束装置」の場合には、説明が販売場所で包装を取り除かなくともはっきりと視認できるものとする。 For "Special Needs Restraints" the information shall be clearly visible at the point of sale without removing the packing:	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.2.11.	⑨ ISOFIX幼児拘束装置の場合には、販売場所で包装を取り除かなくともラベルがはっきり視認できるものとする。 For an ISOFIX child restraint system, the label shall be clearly visible at the point of sale without removing the packing:	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.	ii . 使用方法の説明 Instructions for use	
15.3.1.	(a) 対象になる質量グループと取付具の説明 The mass groups and the fixture for which the device is intended	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.2.	(b) 装置が座席ベルトと組み合わせて使用される場合には、使用できる座席ベルトの形式の記載 When the device is used in combination with an adult safety-belt to be used, the statement of the form of the seat belt which can be used	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.3.	(c) 使用方法の写真又は明瞭な図面での説明 The method of use shall be shown by photographs and/or very clear drawings	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.3.	(d) 前向きと後向きの両方で使用できる場合には、幼児の質量が規定の制限値を超えるか、又は身長基準値を超えるまでは、装置を後向きで使用すること In the case of seats that can be used both forward and rear-facing, clear warning must be given to keep the restraint rear-facing until the child's mass is greater than a stated limit, or some other dimensional criterion is exceeded	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.4.	(e) バックルと調節装置の操作方法の明解な説明 The operation of the buckle and adjusting devices shall be explained clearly	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.5.	(f) 拘束装置を車両に固定するストラップは緩みのないようにすること Straps holding the restraint to the vehicle should be tight	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.5.	(g) 幼児を拘束するストラップを幼児の身体にあわせて調節すること Straps restraining the child should be adjusted to the child's body	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.5.	(h) 幼児を拘束するストラップが捩れないようにすること Straps should not be twisted	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.6.	(i) 骨盤がしっかりと拘束されるように必ずラップストラップを低く下げて着用させること The importance of ensuring that any lap strap is worn low down, so that the pelvis is firmly engaged, shall be stressed	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.7.	(j) 事故の際に激しい応力を受けた場合は装置を取替えること It shall be recommended that the device should be changed when it has been subject to violent stresses in an accident	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.8.	(k) 手入れの方法の記載 Instructions for cleaning shall be given	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.9.	(l) 装置に何らかの変更又は付加を加えることの危険性の警告 Danger of appending a certain change or addition to equipment	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.9.	(m) メーカーが指定した取付け方法を確実に守らなかった場合の危険性の警告 A danger of not following closely the installation instructions provided by the child restraint manufacturer	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.10.	(n) チェアに布製カバーが付いていない場合には、チェアを日光から遠ざげること、そうしなければ幼児の皮膚には高温になりすぎる恐れがあることを注意する When the chair is not provided with a textile cover, it shall be recommended that the chair should be kept away from sunlight, otherwise it may be too hot for the child's skin	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.11.	(o) 車両から離れる場合、幼児を幼児拘束装置に乗せたままにしないようにすること It shall be recommended that children are not left in their child restraint system unattended	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.12.	(p) 衝突の際に傷害の原因になる恐れのある荷物やその他の物は適切に固定するようにすること It shall be recommended that any luggage or other objects liable to cause injuries in the event of a collision shall be properly secured	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>
15.3.13.	(q) 幼児拘束装置はカバーを取外して使用してはならないこと The child restraint must not be used without the cover	適 ・ 否 <u>Pass・Fail</u>

- 15.3.13. (g) 座席カバーは拘束性能の不可分の一部であるので、製造者が推奨するもの以外と取替えないこと
 The seat cover should not be replaced with any other than the one recommended by the manufacturer, because the cover constitutes an integral part of the restraint performance
 適・否
 Pass・Fail
- 15.3.14. (s) 拘束装置の主要な荷重保持点に対する成人用安全ベルトのバックルが不適切な位置の場合に、使用者がどうすればそれを識別できるかを示した文章又は図を入れるものとする。使用者には、この点について疑問がある場合は当該拘束装置のメーカーに問い合わせるように記載すること。
 There shall be a text or a diagram indicating how a user can identify an unsatisfactory position of the adult safety-belt buckle relative to the main load bearing contact points on the restraint. The user shall be advised to contact the child restraint manufacturer if in doubt about this point.
 適・否
 Pass・Fail
- 15.3.15. (t) 年少者用補助乗車装置が代替の荷重保持接点を用意している場合、その使用について明確に説明するものとする。
 If the child restraint offers an alternative load bearing contact point, its use shall be described clearly.
 適・否
 Pass・Fail
- 15.3.15. (u) ユーザーに対し、この代替のルートの使用が満足できるものであるかどうかを判定する方法を指示するものとする。
 The user shall be informed about how to judge if use of this alternative route is satisfactory.
 適・否
 Pass・Fail
- 15.3.15. (v) ユーザーには、この点について疑問がある場合は当該拘束装置の製造者に問い合わせるように指示すること。
 The user shall be advised to contact the child restraint manufacturer if in doubt about this point.
 適・否
 Pass・Fail
- 15.3.15. (w) 年少者用補助乗車装置を初めて取付けるときは、主要ベルトルートを使って、車両オーナーマニュアルに「汎用」と分類された車両着席位置に取付けるよう明確に指示するものとする。
 The user shall be clearly advised to begin the child restraint installation, in vehicle seating positions categorized as "Universal" in the vehicle owner's manual, by using the primary belt route
 適・否
 Pass・Fail
- 15.3.16. (x) これらの使用説明が年少者用補助乗車装置の全耐用期間にわたり当該装置上に、また、組込拘束装置の場合は車両ハンドブック上に表記維持する対策
 There shall be provisions made so that the instructions can be retained on the child restraint for its life period or in the vehicle handbook in the case of built-in restraints
 適・否
 Pass・Fail
- 15.3.17. (y) 使用説明に記述され、年少者用補助乗車装置にマークが付いている以外は、いかなる荷重保持接点も使用してはならない警告
 There shall be explicit warning not to use any load bearing contact points other than those described in the instructions and marked in the child restraint
 適・否
 Pass・Fail
- 15.3.18. (z) ISOFIX年少者用補助乗車装置の場合、自動車製造者のハンドブックを読むこと
 For an ISOFIX child restraint system, the instruction for use must be given to read the car manufacturer's handbook

7.1.4. (IV) 動的試験

Dynamic test

- 8.1.3. *実施する試験方法に丸印をつけること。
 * Around mark is put on the test method conducted
- I. 減速式・加速式
 Deceleration / Acceleration
- II. 台車(試験用シート・車両ボディシェル)・実車
 Trolley (test seat / a Vehicle body shell) / a complete vehicle

装置の試験状態 Test device test status				
供試品番号 Sample No.				
座席ベルトの種類 Kind of Safety-belt				
衝突方向 Impact direction				
装置の向き Direction of device				
傾斜位置 Incined position				
7.1.4.1.9. サポートレッグの調節位置 Adjustment position of support leg				
7.1.4.1.10. 回転防止装置の使用の有無 With or without the anti-rotation device in use				
附則6-付録3 9. Annex 6 - Appendix 3 9. テザーアンカレッジの位置 Position of the top tether anchrage				
7.1.4.4.1.2. 鋼管の有無 With or without steel tube in use				
インナークッションの有無 With or without inner cushion in use				
8.1.3.5 追加取付装置の使用の有無 With or without the incorporating additional anchorages in use				
その他 Other				

	自動車の座席 Vehicle seats			
8.1.3.2.1.3.	座席位置 Seat position			
	座席仕様 Seat specification			
	前後調節装置の位置 Adjustment position of longitudinal adjustment device			
	上下調節装置の調節位置 Adjustment position of vertical adjustment device			
	リクライニングロック装置 Adjustment position of the reclining lock device			
	その他の装置の調節位置 Adjustment position of other adjustment device			
	試験機の測定項目 Test machine measurement item			
	総速度変化 (ΔV) (加速式) The total velocity change (only for acceleration sleds)	km/h	km/h	km/h
	衝突速度 (減速式) Trolley speed immediately before impact (only for deceleration sleds)	km/h	km/h	km/h
	停止距離 (減速式) Stopping distance (only for deceleration sleds)	mm	mm	mm
附則7 Annex 7	台車の最大減速度 Trolley's maximum deceleration	G	G	G
	マネキンの計測項目 Test manikin measurement item			
8.1.3.7.	使用したマネキン Mass of manikin to be used			
7.1.4.2.1.	胸部合成加速度 Resultant chest acceleration			
8.1.3.1.1.4.4.	55gを超える継続時間 Duration time of acceleration exceeding 55g	ms	ms	ms
8.1.3.2.1.6.4.	最大合成加速度 maximum resultant chest acceleration	G	G	G
8.1.3.3.4.3.	腹部から頭部に向かう垂直成分 Vertical component of the acceleration from the abdomen towards the head			
7.1.4.2.2.	30gを超える継続時間の合計 Period sum time of acceleration exceeding 30g	ms	ms	ms
	最大加速度 Maximum acceleration	G	G	G
7.1.4.3.	腹部侵入の痕跡の有無 Abdominal penetration	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No
7.1.4.4.1.1.	マネキン頭部の移動量 Displacement of the manikin head of cr point to the direction of a plane			
8.1.3.1.1.4.3.	BA又はFG平面方向 (時間) BA or FG The direction of a plane (time)	(mm ms)	(mm ms)	(mm ms)
	DA又はFD平面方向 (時間) DA or FD The direction of a plane (time)	(mm ms)	(mm ms)	(mm ms)
	DCr、DE又はDE平面方向 (時間) DCr, DE or DE The direction of a plane (time)	適・否 Pass/Fail (ms)	適・否 Pass/Fail (ms)	適・否 Pass/Fail (ms)
7.1.4.4.2.	頭部(胴体)の接触 (時間) Contact of the head (body) (time)	有・無 Yes・No (ms)	有・無 Yes・No (ms)	有・無 Yes・No (ms)
7.1.4.4.2.	頭部の接触箇所 Contact point of the head			
7.1.4.4.2.	頭部の衝突速度 The speed of impact of the head	km/h	km/h	km/h
7.1.4.4.2.	接触部分の衝撃吸収性能 The requirements for energy absorption of contact point	適・否 Pass/Fail	適・否 Pass/Fail	適・否 Pass/Fail
7.1.4.4.2.	工具を使わずに装置からのマネキンの取外し Remove the manikins from the child restraint without the use of tools	適・否 Pass/Fail	適・否 Pass/Fail	適・否 Pass/Fail

装置の要件 Requirement of the device					
7.1.4.1.4.	ロックシステム又は移動システムの解除 Release of locking system or displacement system	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No
7.1.4.1.4.	保持装置の破損 Break of retention system	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No
7.1.4.1.4.	バックルの解除 Release of buckle	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No
8.1.3.1.1.5.	バックルの故障又は破損 Break of buckle	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No
7.1.4.1.8.	標準安全ベルトの離脱 A standard belt disengaged from device	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No	有・無 Yes・No
7.2.1.8.1.2.	動的試験後のバックル解除力 The force required to open the buckle after dynamic test (N)	N	N	N	N

備考

Remark
